



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

「教会の母聖マリア」に 司教シノドスの成功を祈る

鹿児島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さま、お元気でしょうか。カトリック教会は春爛漫のこの月を伝統的に「聖母月」と呼んで、特別にマリアさまへの崇敬を表しています。典礼暦では、丁度50日間に及ぶ復活節中に当たるので、マリアさまを通して、復活の主イエスを称える事にもなります。

ある。「キリストの受肉の時に神性と人性が神秘的で素晴らしい方法で唯一の位格に結合し、イエス・キリストになった」と主張し、これが正統信仰となりました。つまり、マリアは人間の身分でありながら、神の子イエスの母となられたので神の母であることが相応しいという意味です。

ところで、教会によるマリアの「神の母」宣言によって、文明史家たちは、それまで人々の間で美の象徴であった、ギリシャ神話のヴィーナスが持つ美と女性の理想像が聖母マリアに移行したことに、それまで野蛮だった道徳的価値が高められたと指摘しています。具体的には、西欧において女性の純潔と母性の価値観が受け入れられ、広められたことを意味しています。

次に、聖書に描かれている、聖母マリアの姿を思い出ししましょう。

1・信仰による受託
マリアは神の子を宿すことになるという大天使

2・神の摂理を観想する態度
「しかしマリアはこれらの出来事をすべて心に納めて思い巡らしていた」（ルカ1・19）

3・十字架のイエスと心を一つにすることで皆の母となる
「イエスは、母とそばにいる愛する弟子とを見て、母に、『婦人

よ、御覧なさい、あなたの子です。』と言われた。それから弟子に言われた。『見なさい、あなたの母です。』その時からこの弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。」（ヨハネ19・26）

私たちの罪を贖うためのイエスの十字架の上での死に、母マリアは心を一つにして寄り添います。この行為を見てイエスは自分の母を、弟子のヨハネに委ねます。

ある聖書学者によると、

と、この文章の構図は、あたかも任命式であるかのように指摘します。弟子に向かつて自分の母親の面倒を依頼するとの個人的な依頼ではなく、自分の母親をあなたたちの母として与えるという意味でありましょう。

よ、御覧なさい、あなたの子です。』と言われた。それから弟子に言われた。『見なさい、あなたの母です。』その時からこの弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。」（ヨハネ19・26）

カテドラルで 聖香油のミサ

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の

聖香油のミサが4月4日（火）、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂でさげられた。司教と司祭の強い絆を表すこのミサは、本来なら聖木曜日にさげられるものだが、離島の多い鹿児島教区では聖週間の



司教から任命書を渡される

またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。」（使徒言行録1・13）
これはイエスの昇天から、聖霊降臨までの弟子たちの様子です。この文章には初代教会の構成メンバーがよく表れていますが、その中に、イエスから選ばれた弟子たちの次にしつかりとイエスの母マリアの名が明記されています。このことは、初代教会の誕生の場面から、聖母マリアは使徒たちと信者の群れの中に、静かに、しかも確実に祈りと共に歩んでいたということが分かります。

4・「彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

と、泊まっていた家の上の部屋に上った。それは、ペトロ、ヨハネ、アンデレ、フィリッポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。彼らは皆、婦人たちや、イエスの母マリア、

めましました。それは聖母マリアが各信者の個人的な信心の対象であるだけでなく、使徒の後継者である教皇と司教団、司祭団、奉獻生活者、信徒で構成される神の民の全体の母である、という捉え方があります。

先日、教皇庁より、5月31日の「聖母の訪問」の祝日に全世界の聖母の巡礼地と各教区の聖母に捧げられた教会で、特別の祈りを捧げてほしいとの要請の手紙が届きました。目的は今秋バチカンで開かれる「第16回通常司教シノドス」の成功のためです。

全世界の教会のために開かれる司教シノドスが実り豊かなものとなるよう、教会の母聖マリアの取り次ぎを神の民に願うことは誠に相応しいことであると思います。

病者のための油、洗礼志願者のための油が祝別されたほか、聖香油が聖別された。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

この日のミサには、4月3日に留学先のフィリピンから帰国したばかりの久山元太郎神学生が侍者を務める姿が見られた。

ミサの終わりに、この春、新しく主任司祭となる司祭が司教の前で信仰宣言し、福音書に手を触れ「忠誠の宣誓」を行い、司教から任命書が手渡された。また教区本部付きでザビエル教会協力司祭となるアン神父にも任命書が、最後に教区書記長となる霧島神父は書記長として適正にその義務を果たすことなどを宣誓した上で、教区書記長でザビエル教会協力司祭及び垂水教会管理者の任命書が手渡された。

鹿児島教区で働く司祭・助祭

教区長
中野裕明司教

ザベリオ宣教会①

国分教会
サンタマリア・ジュゼッペ神父

コンベンツアル会④

大笠利教会
内野洋平神父

古田町・古仁屋教会
山浦義春神父

古田町・古仁屋教会
久保芳一神父

古田町・古仁屋教会
松永正男神父

レデンプトール会⑦

谷山教会
盛 克志神父

谷山教会
福崎英雄神父

川内教会
テヨドル・メニッヒ神父

入来教会
ヨルダン・ハンマ神父

大口教会
橋口啓悟神父

韓国・仁川教区②

鹿屋教会
グエン・フン・タム神父

ベトナム・ニャチャン教区②

ザビエル教会
ファン・ミン・アン神父

母間・和泊教会
石田 望神父

母間・和泊教会
ジョバンニ・ドン・ボスコウォラ神父

瀨留教会
シンヒョング
申賢圭神父

大熊教会
ジョンソン
鄭成 涼神父

加世田教会
チョンボフチョン
鄭 法 鍾神父

始良教会
末吉卓也神父

溝辺教会
ジュオン・ヴァン・ドック・ティエン神父

志布志教会
オローフォ・ベルナルディーノ神父

種子島教会
バクジンヤン
朴鎮亮神父

小宿教会
バクジンウク
朴昶奎神父

聖心教会
鈴木康由神父

鹿児島教区②①

鴨池教会
イビョンドク
李秉徳神父

紫原教会
貴島丈弥神父

玉里教会
泉 浩二神父

吉野教会
栃尾泰英神父

ザビエル教会
小隈憲士神父

出水・阿久根教会
ソンジンウク
宋診旭神父

指宿教会
郡山健次郎司教

引 退
田原 章神父

引 退
丸野六雄神父

静 養
寝占敦之神父

出 向
山口好信神父

旧司教館
永山幸弘神父

善き牧者幼稚園
小川靖忠神父

本部及び垂水・ザビエル教会
霧島 彬神父

終身助祭⑧

小島芳武助祭

桃薊淳一郎助祭

久保俊弘助祭

四條淳也助祭

川口 茂助祭

石神秀人助祭

重久知司助祭

池上利男助祭

カトリック教会の多様性を生きる

〜とくに信徒と聖職位階とのかかわりの中で〜⑥

鹿児島教区司祭 永 山 幸 弘

第四部 多様性の中の一致の実践に向かう

Ⅹ・公会議の精神の法制化

(1)公会議の教えの大きな実践の裏りとして新教会法典が公布されました。

教皇パウロ6世は公会議開催中から公会議の成果を法制化して新しい教会法典を公布する予定にしていた。それほどそれまでの教会の変革が求められていたのです。

新教会発布には多くの労力と時間を要するもので、し、しかも教会のさまざまな活動は止めるわけにはいきません。このため、歴代の教皇たちは「勧告」、「書簡」、「回勅」などを公布するとともに、教皇庁も具体的な教令、指示、通達などを出して対応しました。

(2)このような経過を経て

公会議終了から18年後、1983年1月25日付けで、聖ヨハネ・パウロ2世教皇は新教会法典を公布しました。

教皇はその発行のための使徒憲章『サクレ・ディツ・シプリネ・レジェス』（『カトリック新教会法典』vii～viii頁、1983年1月25日、於ローマ）で次のように述べています。

「手段としてのこの法典は、教会の本性とまったく一致したものです。この法典が、第二バチカン公会議の教え全体、特に公会議の教会に関する教えに基づいて作成されたものであることを考えるなら、このことは明らかです。…」

教会に固有な、真のイメージを現す要素の中で、特に次の点は強調すべきです。

教会は、神の民であり（『教会憲章』第2章参照）、位階的な権威は奉仕であること（同3章参照）、教会は共同体として交わりであり、この交わりが部分教会と普遍教会との間、司教の団体性と教皇の首位性との間に存在すべきこと、同様に神の民のすべ

てのメンバーはそれぞれさわしい形でキリストの祭司的、預言的、王的務めにあずかる者であり、信者すべて、なかでも信徒も義務と権利を持つ者であるということなどです。

(3)教皇ヨハネ・パウロ二世のこの憲章によって新教会法が公会議の精神、特に教会憲章の精神と本質的につながっていることが明白に述べられており、また今回のテーマ「多様性と一致」に関して権威ある内容が示されています。

（続く）

「ウクライナ」支援募金 教区では、レデンプトール宣教修道女会とカノッサ修道女会を通してウクライナ支援することになりました。郵便振替は下記の通り。

郵便振替：02030-2-8359

加入者名：カトリック鹿児島司教区

*通信欄に「ウクライナ」と明記の事

このコラムで幾度となく「終末」や「神の国の実現」、そして「神の救い」ということを話してきました。これらの言葉が意味することを概観してみたいと思います。

根本問題としてなぜ終末が到来するのかを考えてみましょう。もちろんこの「終末」とは世の終わりや破滅の時のことではありません。終末の到来の根本には「人間は神の被造物であり、それゆえに愛された存在である」ということがあります。

もし自分が可愛がっていたペットが死んでしまった場合、皆さんはどう思われるでしょうか。愛おしいければ愛おしいだけ深く悲しみ、もつと自分と一緒に長

《康由神父の聖書教室》62

終末があることの意味



く生きてもらいたかったと思うはず。私たち人間がこの地上の命を終えたとしたら神様も同じように思われるのです。

人間は死んでしまった存

在に再び命を与えることはできません。しかし命の与え主である神様は再び命を与えることができます。そしてこの地上で実現する神の国で神様やイエス様と永

めたものは神様が終わらせ、即ち、完成させてくださるということです。

であれば創造主である神様は愛ゆえに私たち被造物が死んだままにしておかないのです。であれば神様が私たちを助けてくださることは当然であると言えるでしょう。

詩編の中で「あなたの重荷を主にゆだねよ／主はあなたを支えてくださる。主は従う者を支え／とこしえに動揺しないように計らってください」と謳われています（55・23）。

この神様の支えと計らいを信じるか否かが信仰なのです。

神様の創造の目的は人間を御自分の子供とすること、御自分の永遠の幸福に与らせること、そして人類を永遠の安息に与らせることです。

人間とは異なり神様の目的が果たされないことは決してありません。その目的の成就こそ終末であり、神の国の実現であり、私たちの救いが実現する時なのです。



会 と 催 し 5月

- 3日（水）聖フィリポ 聖ヤコブ使徒
- 4日（木）石田望神父霊名（聖フィリポ）
- 7日（日）盛克志神父叙階記念（1991年）
- 9日（火）復活節第5主日
- 13日（土）みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時
- 14日（日）聖書の分かち合い・教区本部・14時
- 14日（日）復活節第6主日

▼世界広報の日（献金）

福音宣教はわたしたちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、インターネットなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。日本のようにマスコミや技術の進歩している国で、広報が社会や文化に及ぼす影響ははかりしれないものがあります。広報の重要性を再認識し、広報を通して社会と人々にどのような力がかかわっているかを考えることが大切です。

「世界広報の日」は、第2バチカン公会議で定められ、1967年以来、毎年教皇メッセージが出されています。なお、多くの国では復活節第7主日をこの日に定めています。

- 16日（火）カリタス鹿児島・教区本部・14時
- 17日（水）中野アカデミー・教区本部・14時
- 20日（土）デイリーノ神父叙階記念（1998年）
- 21日（日）デイリーノ神父霊名（ベルナルディーノ）
- 23日（火）主の昇天
- 24日（水）司祭評議会・教区本部・14時
- 25日（木）中野アカデミー・教区本部・14時
- 27日（土）聖マリア学園・教区本部・10時
- 28日（日）聖書の分かち合い・教区本部・14時
- 28日（日）聖霊降臨の主日
- 30日（火）教区司教会・教区本部・16時30分
- 31日（水）聖母の訪問

▼タム神父叙階記念（2007年）

【司教日程】9日福岡大神学院会議、10～11日常任司教委員（東京）、16日カリタス鹿児島、18～19日大口明光学園、23日司祭評議会、24日中野アカデミー、25日聖マリア学園、28日鹿児島教会訪問、31～1日常任司教委員会（東京）

祈りの意向

【祈祷の使徒会】

教 皇 教会の諸活動と諸団体

日本の教会 子どもたち

「聖書愛読運動」旧約聖書教訓・予言書コース完走者

重久知司助祭（母間小教区）、市来房枝さん（国分教会）、中野美枝子さん、権頭暁子さん（聖心教会）、山口寛子さん（ザビエル教会）、山城充さん（加世田小教区）

※4月18日現在

シドッチ神父について学ぼう③

第2回シドッチ祭（系永司教）講演要旨

列福申請が提出（2021年11月）されたシドッチ神父のことをよく学び、鹿児島教区民が崇敬するようになるために、第2回シドッチ祭で屋久島の方々に向けて当時の教区長系永真一司教の講演したその要旨をお伝えしたい。

1・日本渡来目的

では、なぜシドッチ神父は厳しいキリシタン禁教令のしかれた日本にやって来たのでしょうか。白石がシドッチ尋問の内容に自分の所見を加えて記録した「西洋紀聞」によれば、シドッチ来日の目的は次の通りです。



要理

け加えています。当時長崎には、日本との通商を許されたオランダ人が出島にいましたが、カトリックと対立関係にあったプロテスタントのオランダ人の介入は、カトリック布教再開に不利であることを百も承知していたのです。

しかし、シドッチ神父の生命がけの要請にもかかわらず、キリシタン禁教令は解かれませんでした。白石は主要次のように書いています。「キリスト教の社会

秩序に与える影響は好ましくない。キリスト教の神が君父の上にあるとすれば、君を軽んじ、父を軽んずることは必定で大変なことになる。それにわが国民は異教を信じやすいときてい

力者によって迫害されたことは、島津藩においてもその例を見ることができま

合同で辞令を交付

カトリック鹿児島教区幼保連盟

3月31日（金）、ザビエル教会でカトリック鹿児島教区幼保連盟主催の合同辞令交付式があった。

この日、同式典に出席したのは、聖マリア学園、カトリック学園、カトリック大隅学園の三つの学校法人

を広めるためであって、従来わが方が信じ込んでいたように、わが国を奪い取るためではない。そのキリスト教の本意ならびにその地勢等を考えれば、日本を奪うという謀略などあり

得ないであろう」白石のこうした理解にもかかわらず、いわれないキリスト教邪教教観や奪国論が長く日本人の心に残ったのは残念なことでした。（続く）



「短信」

▼奄美大島の子どもたちが長崎巡礼

3月15日（水）から18日



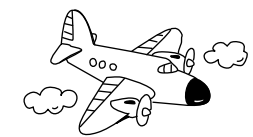
田原章神父は3月17日（金）、司祭叙階70周年のプラチナ祝を迎えた。

▼教区経済問題評議会

3月19日（日）午後、教区本部を主会場にインター

▼シヨファイユの幼きイエズス会古仁屋修道院閉鎖

1960年に開設された古仁屋修道院が昨年度末に閉鎖され、同時に同会が経営母体となっていた古仁屋親愛幼稚園も瀬戸内町に譲渡された。



「火星」といふ言葉は聞いてお互いがそれを考えることができるのです。もし「ミカノマシゴカはいでしようか」と聞かれたら「はあ何それ」ってなると思います。ということは何かを考えることができるとは分らないけれど、またはつきりとは分らないけれど、それがあってこそかもしれません。

聖アウグスティヌスは「知ることなしに、だれがあなたを呼び求めることができましょう。知らないならば、別のものをそれと思って呼び求めるかもしれません」（『告白』1・1）、と神様に訴えています。ですから神様を中心としてイエス様や教会のことに

▼田原神父が叙階70周年引退して現在は療養中の